新しの歌

（こく鹿の節）

一、オイ〳〵去る新坊よ
おるのオヤカは鬼オヤゲ
おるのオヤゲの命せめは
大綱の縛つめ注ぐてある
ヨ、オイ〳〵去る新坊よ
おるのオヤゲは鬼オヤゲ
オヤゲの命せ締つを
イチメンなあかくに苛切つた
ヨ、オイ〳〵去る新坊よ
おるもオヤゲも気をつけろ
アニマリおめなをつハチで
とう〳〵ストはストライキ

戸山学校の皆さん！
コノ歌をうたいませう!!
三年まえ去る春新入という男のつかまつりせう。
あのナマイキでいばってばかりいる新材のお気こんな、四月の
祝賀や近所のかわいまうな人にまで高い利子でお金をかして
多くサニの人を泣かせてゐます。また、この人が会社の命令で
外務省にはをらいてゐる人達の苦もとりました。彼女は泣き寝入
で今一家族のみなさんと、ああ人がうまれ、彼女をへとへとにつかれる
オヤゲはかこといいといふ様な生活をさせ、それでストライキになつて
仲よくすると
はをうりかも！
そうしてはをうりかも！
そのためにこの歌をうたってやりませう。一番
おして立ちがんしんでゐる人達のために！
ところのコノ歌をうたって下さい
東京社会学研援会有志会

5. 9. 19
昭和二年(ワ)1201
(八)

労裁第二一二號
昭和五年九月十八日

警視總監 丸山鶴吉

内務大臣 安達謙藏殿
社會局長官 吉田茂殿

東京社印刷工場爭議ニ關スル件（第四報解決）

標記工場勞働爭議ハ前報後勞資再三會見折衝中、處去ル十六日事業主側、吉原社長調停者高島宗良勞働者代表田中長吉外三名合工場ニ於テ會見交渉ノ結果、今日午後四時左記条件ニテ円満解決セリ

記

一、解雇（予備者一ヶ月分支給）